教育で医局員が集まる！産婦人科の実習改革

魅力的な診療参加型臨床実習で志望者数が増加

こちらのQRコードから
Medical Tribuneウェブに
ご登録いただくと、
1,000ポイントを進呈いたします。

2024年12月4日 15:10

0 参考になった 1 名の医師が参考になったと回答 記事をクリップ

磯部 真倫氏

若手外科医の減少や医師の働き方改革などを背景に、外科教育の改革が求められている。こうした中、第86回日本臨床外科学会（11月21～23日）では特別企画として「外科教育を再考する」と題するセッションを設定。教育を専門とする臨床系教授という立場で学生教育改革を行った岐阜大学産婦人科教授の磯部真倫氏が、産婦人科における術前・術後の症例プレゼンテーションや初診外来医療面接を学生に任せる「診療参加型臨床実習」の取り組みを紹介。魅力的な臨床実習を行った結果として多くの学生や研修医が産婦人科を志望するようになり、医局員が増えていると報告した。

学生の手術参加、どこを任せるか

磯部氏は2023年6月、教育を専門とする産婦人科教授として岐阜大学に着任したが、同科には人員不足という課題があった。産婦人科医が自身の進む診療科を決めた時期に関する調査では、医学部3～6年生、すなわち臨床実習中だったとの回答が多数を占めた。そこで同氏は最初の教育改革として、**学生の体験を重視する診療参加型臨床実習**の構築に着手した。

具体的には、全ての5年生を手術チームに参加させ、実習の一連の流れの中で**術前検討と術後の症例プレゼンテーションを任せた。**医師も参加する実際の検討会で発表するため学生は真剣に取り組むことで、手術への理解が深まる。また、術後のプレゼンテーションを見据えて手術中の集中力が高まるという効果があったという（**図1**）。

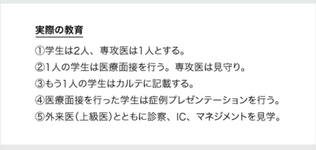
図1．実習の流れ：学生にどこを任せるか

医師でも緊張する初診外来医療面接は重要

入院患者と異なり、初診患者の多くは確定診断が付いていない。そのため**初診外来医療面接は重要**である。磯部氏は「医師でも緊張する初診を任せると、学生の緊張は大きいもののモチベーションが高まる」と指摘する。

ただし、学生は産婦人科特有の医療面接に関する知識が不足している。そこで同氏は**医療面接の予習動画を作成して自己学習**させた。また、女性の生殖器を扱うためクレームが懸念されることから、**若手医師（専攻医）が補助する体制**とし、片手間で補助するのではなく他の業務が重ならないように配慮した。面接を担当した学生は症例プレゼンテーションを行い、その後、外来医（上級医）とともに診察を見学するという手順で実務に参加させている（**図2**）

図2．初診外来医療面接の実習手順



（図1、2とも磯部真倫氏発表資料を基に編集部作成）

同氏によると学生の評判は良く、「大学病院の実習では予診を経験できる機会がなく、ありがたい」「産婦人科特有の問診事項である月経歴や妊娠歴について意識しながら医療面接を行うことができた」「予診後に診察を見学させていただき勉強になった」などの感想が寄せられた。若手医師にとっても、患者がどのような症候で来院し、どのように診察するのかを経験する貴重な機会となっているという。

講義を全て廃止、学生は動画を好む

さらに診療参加型臨床実習を増強する施策として、妊婦エコーや腹腔鏡手術などのシミュレーション教育に加え、**教育の負荷を軽減するため講義を全て廃止し、動画を活用**することとした。手術のダイジェスト動画を視聴した上で手術に参加することで、学生の理解は深まっている。

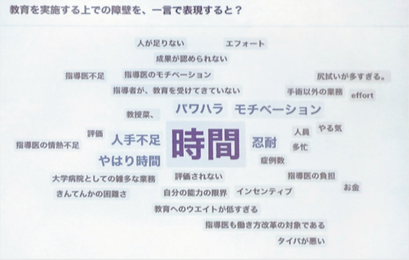
磯部氏は「最近の学生はYouTube動画が好きでよく見てくる。指導する側としても、何回も同じ講義をしなくて済み、学生との議論も深くなった」とICT教育の有用性を強調した。

また、実習には市中病院の協力も不可欠であり、それにより経腟分娩や救急疾患といった大学病院とは異なる多面的な教育ができるという。

時間不足が課題、効率的な実習の構築を

磯部氏の発表後、同セッションの演者9人と会場の参加者を交えた総合討論が行われた。「外科教育について学ぶ機会が不十分である」などの問題が提起されたが、やはり医師の働き方改革実施の影響を受け、**教育に充てる時間が不足している**ことが大きな課題として浮かび上がった（**図3**）。

図3．教育を実施する障壁



（セッション参加者へのリアルタイム調査結果）

同氏によると、臨床実習の改革後は多くの学生や研修医が産婦人科を志望するようになり、その結果、新規専攻医は過去最多の8人に、教室員も16人から21人に増加したという。この経験から、同氏は「**外科医を増やすためには、効率的かつ魅力的な臨床実習を構築することが求められる**」との見解を示した。

（編集部・畑崎 真）

参考になった 1 名の医師が参考になったと回答 記事をクリップ